



学校だより

令和8年5月29日
横浜市立菅田の丘小学校
6月号 [水無月 June]

「みんな花笑み」

「知」 主体的に考え、粘り強く取り組む子
「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子
「体」 心身ともにたくましく生きていく子
「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子
「開」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子



心をつなぐ言葉

副校長 山本 麻美

令和8年度がスタートして、あっという間に2か月が過ぎようとしています。私も菅田の丘小学校に着任して2年目となりました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は季節の移り変わりがとても早く感じられます。校庭ではアジサイが少しずつ色づき始めたり、朝の時間には池に咲くスイレンの花も見られたりするようになり、梅雨、そして夏の訪れを感じる季節となりました。

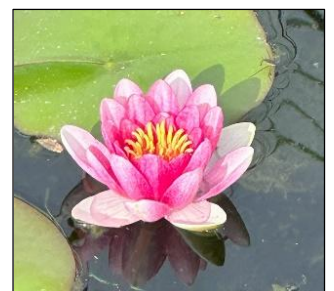
先日の朝会で校長先生から「言葉」についてのお話があり、改めて言葉のもつ力の大きさについて考えさせられました。

学校生活の中でも、その力を感じる場面はたくさんあります。困っているときに「大丈夫?」「一緒にやろう」と声をかけられると、相手の子も一瞬で前向きな表情に変わったり、「いいね」「すごいね」という言葉にぱっと満面の笑顔に変わったりするなど、温かい一言がお互いの安心や自信につながり、子ども同士の関わりをより豊かなものにしています。このような子どもたちの姿に言葉の力の大きさを感じるとともに、日々の言葉の積み重ねが、学級や学校全体のあたたかい雰囲気をつくっているのだと感じます。

そして、このことは子どもたちだけでなく、私たち大人にも当てはまることです。「どうしてできないの?」と言われるのと「がんばっているね。あと少しだね。」と声をかけられるとのでは、その後の気持ちは大きく変わります。優しい言葉は相手の心に安心を与え、「もう少し頑張ってみよう」という前向きな気持ちを育てます。言葉は、人と人との心をつなぐ大切な架け橋です。忙しい日々の中ではありますが、だからこそ言葉を大切にし、相手を思いやった声かけを心がけていきたいものです。

ご家庭でも、お子さんのよさや頑張りに目を向け、「優しい言葉」をかけていただくことで、安心感や意欲がさらに育まれていくことと思います。学校でも、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、言葉を大切にしたい関わりを続けてまいります。

引き続き、菅田の丘小学校の子どもたちへのあたたかい励ましの言葉と、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



朝の時間、池にきれいに咲いたスイレンの花が見られます。ぜひ見てください!